

衝撃~しょうげき~

Show Get-key

オートバックスセブン
株主通信

vol.22

第61期 第3四半期 事業報告書 2007.10.1から2007.12.31



※2007年5月よりオートバックスグループの一員となった、米国STRAUSS Discount AUTO

 **AUTOBACS SEVEN**

オートバックスグループの大義

「車好きのユートピアを創る」 「世界中のドライバーを車好きに変える」

二つの大義を実現するため、私たちオートバックスグループは、
お客様の満足のためにカーライフスタイルの創造に挑戦し続けます。

オートバックスグループのビジョン

「車のことなら何でもお任せ」

全てのドライバーのご要望にお応えできるよう、
私たちはトータルカーライフサービスの充実をさらに加速させていきます。

Contents 目次

CEO Message ごあいさつ	1	Financial Section 財務報告	8
Special Feature 1 コーポレートガバナンス体制のさらなる強化に向けた取り組み	2	Investor Information 株式情報	12
Special Feature 2 米国における事業展開	4	Corporate Data 会社情報	13
Topics トピックス	6		

見直しに関する注意事項

この株主通信に記載してある戦略や今後の事業展開など事実に基づいていない部分は、現在入手可能な情報から得られた経営者の判断に基づいたものであり、実際はさまざまなリスク要因の変化により異なる結果となることがあります。

個人情報保護方針

株式会社オートバックスセブンは、個人情報保護の重要性に鑑み、個人情報を適切に保護するため、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報を適切かつ安全に取り扱います。

コーポレートガバナンスのさらなる強化に向けて

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社は、2007年10月に発行決議した転換社債型新株予約権付社債において、払込完了とその内容の訂正という不適切な開示を行ったことに伴い、東京証券取引所および大阪証券取引所に改善報告書を提出しました。株主・投資家の皆さまに多大なるご迷惑をおかけいたしましたことについて、あらためて深くお詫び申し上げます。

この反省を踏まえ、当社は現在コーポレートガバナンスのさらなる強化に全力で取り組んでいます。今号では、その取り組みの一端を特集で紹介しています。ご覧いただければ幸いです。

当第3四半期の業績報告

当第3四半期は、全国的にまとまった降雪が少なかったことによるスタッドレスタイヤの売上減少に加え、カーナビゲーションの販売が低価格商品へ移行するなど、厳しい市場環境となりました。このような状況のもと、車販売、二輪用品販売の売上が増加したことに加え、総合オイルディストリビューターの(株)パルスターの連結対象子会社化や米国カー用品小売チェーンの事業譲受けなどにより、連結売上高は前年同期比8.3%増収の2,124億44百万円となりました。経常利益は連結対象となった国内外の子会社の経費と中期的なビジネスの成長に向けたシステム関連費用や採用・教育関連費用の増加に加え、サブプライム問題による金融市場混乱の影響を受け、営



業外損失として投資有価証券評価損14億80百万円などを計上し、同40.0%減益の95億47百万円となりました。四半期純利益についても、特別損失として投資有価証券売却損5億76百万円などを計上したことにより、同53.7%減益の39億92百万円となりました。

社内処分と今後の資金調達について

今回の不適切な開示に関しては、2007年12月26日開催の取締役会にて全取締役8名に対する社内処分*を決定しました。今後は社内推進体制の整備を優先し、資金調達の目的としていたM&A戦略については慎重に取り組む方針です。また、将来的にM&Aによる資金調達の必要性が生じた場合は、多くの株主・投資家の皆さまにご理解いただける調達手法を検討してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、より一層の株主価値の向上を目指し、全社一丸となって努力している当社グループへの変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

2008年2月

住野 公一

代表取締役 CEO



コーポレートガバナンス体制のさらなる強化に向けた取り組み

当社ではコーポレートガバナンスの強化が現在の経営の最重要課題であると認識し、全力を挙げて取り組んでまいります。今回は2008年1月に行った経営機構改革と今後の取り組みを紹介します。

1

経営機構改革

内部統制機能および牽制機能の強化を目的とし、2008年1月1日付をもって、以下の経営機構改革を実施しました。経営機構改革の概要は以下の通りです。

1 内部統制機能を強化する

- 全社の内部統制機能を強化するため、「内部統制管理室」をCEO直轄の部門として新設する。
- 「法務部」の独立性を保ち、審査・牽制機能を強化するため、CEO直轄とする。

2 「CSO」の統括分野から牽制機能を分離し、牽制機能を強化する。

- CSOの統括分野を企画立案・戦略推進機能に集中し、「財務」、「総務」、「経理」および「法務」の牽制機能を分離する。

3 「経営企画部」の稟議制度運用や経営会議体運営などの社内牽制機能を新設の「総務部」に移管し、社内規程や運用ルールを整備し全社的な牽制機能の有効性を確立する。

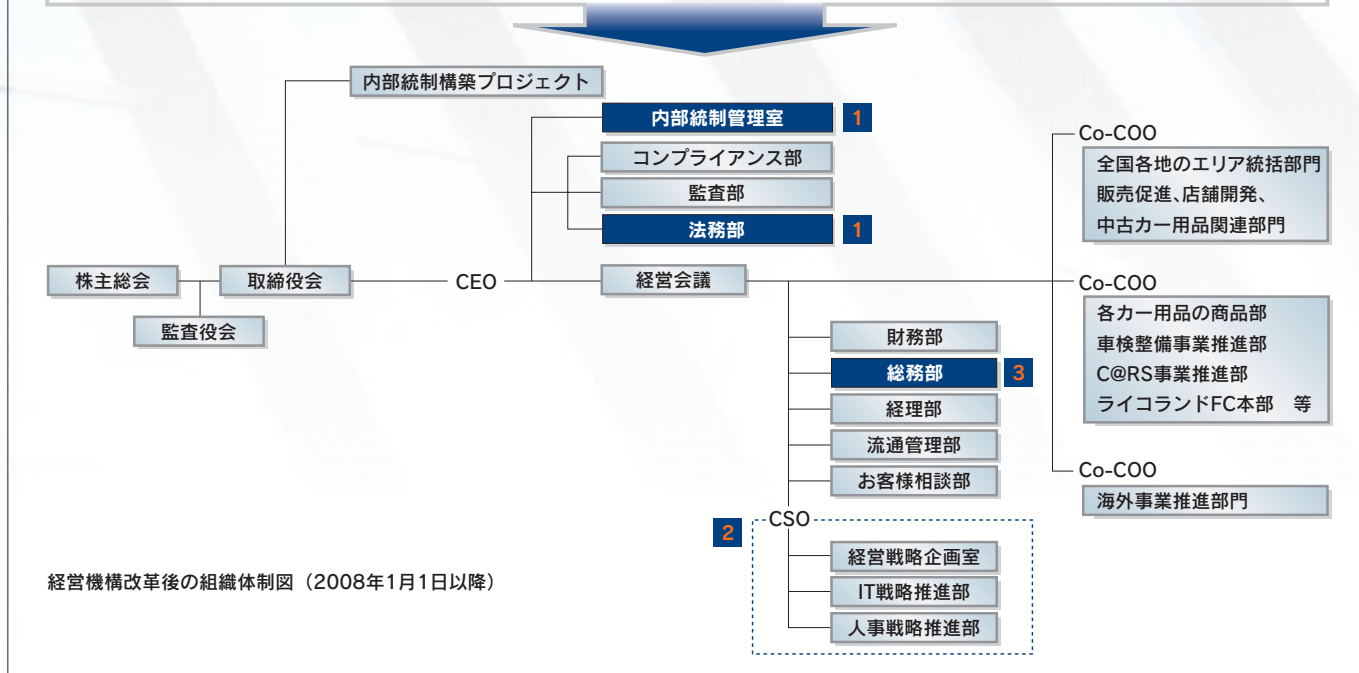
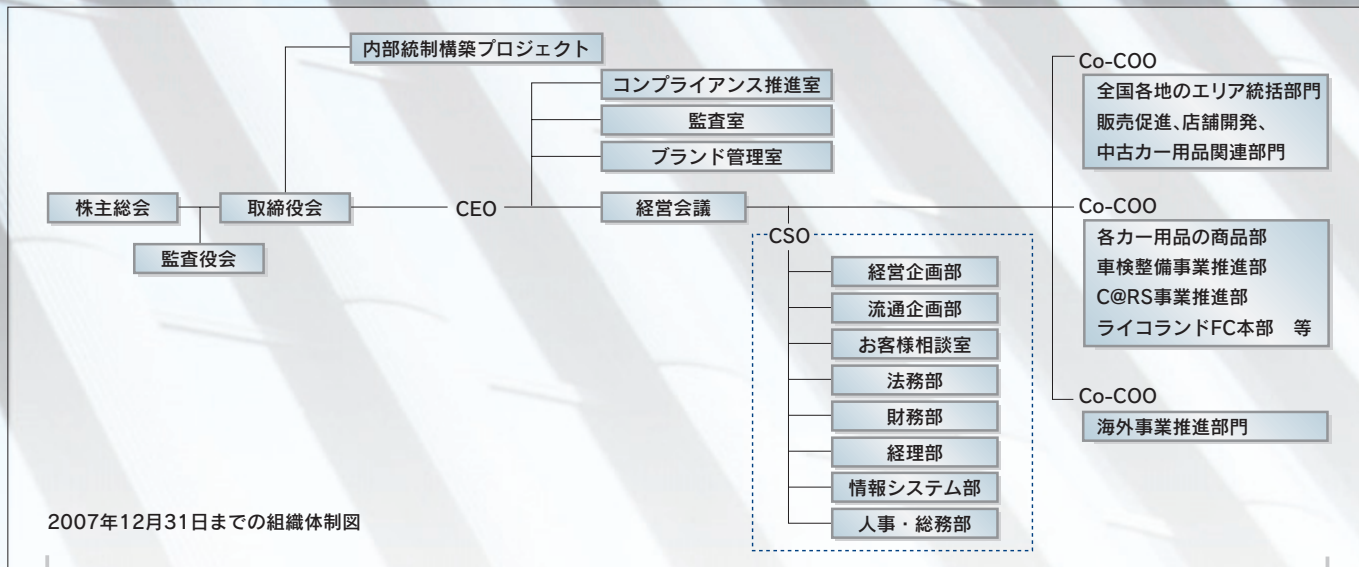
2

今後の取り組み

コーポレートガバナンスの強化に向け、全社を挙げて以下の施策に取り組んでまいります。

- 1 社内体制および仕組みの見直しによる経営基盤の再構築
- 2 情報開示体制、IR体制の更なる強化
- 3 リスクマネジメント体制の構築

進捗については今後の株主通信の中で紹介させていただきます。





米国における事業展開

オートバックスグループでは、「世界中のドライバーを車好きに変える」という大義に基づき、1991年に台湾に海外第1号店を出店し、2008年1月末現在、台湾の他、フランス、アメリカ、中国、シンガポール、タイの6地域で118店舗^{*}を展開しています。本特集では2007年5月より、オートバックスグループの一員となった米国STRAUSS Discount AUTO(ストラウスディスカウントオート)について紹介します。



■ 米国のカーアフターマーケット(自動車用品、部品市場)事情

米国のカーアフターマーケットの市場規模は非常に巨大で20兆円以上(2007年)とされています。米国は自動車のメンテナンスや修理をそれぞれ独自に行ういわゆるDIYユーザーが多い市場です。そのためカー用品も補修部品、用品ごとに専門化、細分化され、専門店や取付業者で販売されています。また、カー用品専門店以外でもタイヤ、オイル、ナビゲーション、セキュリティシステムなどはディスカウントストアや家電量販店が取り扱っており、日本とは違う市場構造となっています。

その中でカー用品専門店も多くのチェーン店がありますが、それらが取り扱う商品は日本のカー用品専門店と異なりファンベルトやガスケットなどの交換部品や補修用品が圧倒的に多いです。また、国土が広大なため、主要カー用品店でも全米を完全にカバーしているチェーンは少なく、強い地盤があるエリアを中心に店舗展開を行っているチェーンが多いので、エリアによって勢力図が大きく変わるのが特徴です。さらにもう一つの特徴として、取り付けやメンテナンスなどのピットサービスを行うチェーンとカー用品の販売のみでピットサービスを行わないチェーンがあります。

米国の主なカー用品チェーン

ピット併設のチェーン		ピットを併設していないチェーン	
名称	店舗数	名称	店舗数
ベップ・ボーイズ(業界8位)	561	オートゾーン(業界1位)	4,000
ストラウスディスカウントオート(業界15位)	89 [*]	アドバンス・オート・パーツ(業界2位)	3,228
		ユニ・セレクト(業界3位)	3,079

(出典：AFTERMARKET BUSINESS vol.118 2007年9月現在 順位は米国内における店舗数)

■ 何故、ストラウスディスカウントオートなのか

当社は、2003年8月に米国進出1号店である「SUPER AUTOBACS BEACH&22 STORE」をカリフォルニア州にオープンしました。さらなる出店を実現するには、一から物流機能や店舗開発を行わねばならず、時間が掛かってしまうことが課題でした。そこで米国における出店スピードを加速し、多店舗化による商品調達力や経営効率の向上の観点から、2007

年3月に、長い歴史を誇り、東海岸に強固な地盤を持つカー用品店「ストラウスディスカウントオート」89店舗*と物流センターの譲り受けに関する基本合意を行いました。「ストラウスディスカウントオート」は、当社と同じくピットにおける取り付けサービスを行っている業態であることと、長年培ったブランドも持ち合わせていることから、当社が日本で培ったノウハウを活かし、相乗効果を生みだせる数少ない業態であると考えています。

■ ストラウスディスカウントオートの特徴

1. ニューヨーク州、ニュージャージー州、ペンシルバニア州に強固な地盤を持ち、89店舗*を展開
2. パーツやメンテナンス商品(オイル、バッテリーなど)の品揃えが充実した店舗
3. ピットにおけるメンテナンスや取り付けサービスを行っている

■ ストラウスディスカウントオートを当社グループに迎えて

ストラウスディスカウントオートが当社グループに加わる前は、資金不足で店頭では品薄状態が続き、顧客離れが起きていました。そのため買収後は、早急に商品調達機能を改善させ、売り場の魅力を向上させてきました。

また今までは売上構成の中でパーツや工具などが多くを占めていましたが、オートボックスの強みであるタイヤ、アクセ

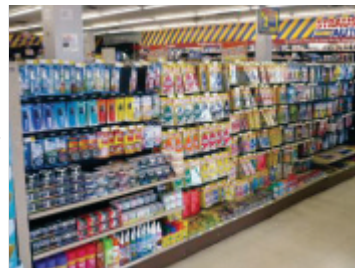
サリー類、モータースポーツ商品の品揃えを強化し、カーライフを楽しむ提案を行う魅力ある店作りを徐々に行っています。現在ではその成果があらわれ始め、来店客数も増加し、業績も改善傾向にあります。

今後はオートボックス流の店舗ノウハウが注ぎ込まれた店舗を増やすことにより、地域のお客さまに付加価値を提供し、親しまれるチェーンとして業容の拡大を目指してまいります。

※店舗数は2007年12月末の数字です。



買収直後の店舗売り場



現在の店舗売り場

ARTA NSX、SUPER GT GT500クラスでチャンピオン獲得!

当グループと元F1ドライバーの鈴木亜久里氏とともにスタートしたARTA (AUTOBACS RACING TEAM AGURI) Projectの発足10周年である今シーズン、国内最高峰のGTレース「SUPER GT GT500クラス」において「ARTA NSX」



が悲願のシリーズチャンピオンを獲得しました。第1戦の鈴鹿では、最終周までトップを独走するも、エンジントラブルによる無念のスローダウンで12位という不運に見舞われました。しかし、第2戦、第5戦、第8戦で優勝、第6戦で2位という圧倒的な強さで、SUPER GT史上初の第8戦でドライバーズタイトルを、また、最終戦ではチームタイトルを決め、今シーズンを完全制覇しました。

これを記念して当社は12月7日から31日まで、「ARTA NSX チャンピオンキャンペーン」をオートバックス・ドットコム*上にて実施しました。

*オートバックス・ドットコムはこちらをご覧ください。
<http://www.autobacs.com>

早い!安い!お手軽!ワンコインピットメニューを本格導入

当社は、500円(税込)でドアミラーコート、サイドガラス撥水、内窓拭き曇り止めコーティングなどを短時間で行う「ワンコインピットメニュー」を2007年11月12日より全国のオートバックス、スーパーオートバックス、オートハローズの全485店舗* (2007年12月末現在)に導入しました。

同メニューは、2007年8月より当グループの一部店舗にて実験導入を開始しました。500円という価格設定と、5~20分間という短い作業時間でタイヤ交換などの通常ピット作業と同時に行える手軽さにより、多数のお客さまから好評をいただいております。今回、ほぼ全店において導入することで、ピットメニューの充実をはかり、お客さまが安全に安心して自動車を運転できるためのお手伝いをするともに、

サービスをきっかけとしたカー用品の売上推進もその目的としています。



▲サイドガラス撥水により雨の日の視界もクリアに!

▼新開発特殊セラミックと特殊ポリマーによりドアミラーに水滴を寄せ付けません。



*一部の店舗では、気温や気象の条件によりミラーコートは実施していません。

ニュースリリースの詳細は、当社の企業紹介ウェブサイトでご覧いただけます。

<http://www.autobacs.co.jp/>

OCT 10 月

- 「オートバックス藤沢柄沢店 テクノキューブ」を開設(神奈川県)
- 「無料安全点検サービス」に関するTVCMオンエア開始
- 「オートバックス札幌北47条店」改装新築オープン(北海道)
- 「オートバックス 廈門浜北店」新規オープン(中国廈門市)
- 自己株式の取得を決議

NOV 1 月

- 「オートバックス上海銀都店」新規オープン(中国上海市)
- フランス国内におけるフランチャイズ2号店がオープン



11月7日、パリ郊外に「オートバックス オーベルジャンビル店」がオープンしました。本店舗はフランスにおいてフランチャイズによって経営される店舗としては2店舗目であり、フランス国内におけるオートバックスグループ店舗は9店舗目となります。なお、同店舗のオープンにより、9つの店舗がパリを中心に円を描くように配置され、オートバックスブランドの認知とシェアの向上に貢献します。

- 「オートバックス台州椒江開発店」オープン(中国台州市)
- 大阪産業大学にオートバックスオリジナルカー「ガライヤ」を寄贈



当社は、大阪産業大学が実施しているバイオマスエネルギーに関するプロジェクトに協力することで合意し、独自に開発した車両「ガライヤ」を1台寄贈いたしました。自動車産業に関わる企業として、“環境対策”や“エコロジー”という観点は欠かせないものと考えており、今回の研究内容や活動に共感し、車両寄贈を行う運びとなりました。

- オリジナルカスタムカー「monoCRAFT SS1」の予約受付開始

DEC 12 月

- 自己株式取得の中止を決定
- 「緊急! ガソリン節約グッズ 10%OFFキャンペーン」実施
- ファイナルバーゲン限定「オートバックス オリジナルカレンダー」プレゼント実施
- 転換社債型新株予約権付社債に関する不適正開示に伴う社内処分を決定
- 「TOKYO AUTO SALON 2008 with NAPAC」に出展

連結貸借対照表

単位：百万円

	第60期 第3四半期 (2006年12月31日現在)	第61期 第3四半期 (2007年12月31日現在)	第60期 (2007年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	141,675	145,003	119,264
現金及び預金	31,126	36,378	34,020
受取手形及び売掛金	34,947	38,296	15,833
有価証券	26,062	15,764	30,005
たな卸資産	23,468	27,981	19,654
繰延税金資産	2,299	1,890	2,325
未収入金	20,919	21,875	14,922
その他	3,238	3,417	2,862
貸倒引当金	△ 387	△ 600	△ 359
固定資産	120,459	122,745	121,362
有形固定資産	50,907	54,648	51,925
建物及び構築物	21,623	21,601	21,334
土地	22,421	25,451	23,512
その他	6,861	7,596	7,078
無形固定資産	12,838	16,168	13,041
投資その他の資産	56,713	51,928	56,395
投資有価証券	28,785	22,912	29,369
長期貸付金	1,353	1,149	1,245
繰延税金資産	3,005	4,507	2,496
長期差入保証金	22,077	21,948	21,884
その他	3,020	2,167	2,088
貸倒引当金	△ 1,530	△ 756	△ 690
資産合計	262,134	267,749	240,627
(負債の部)			
流動負債	70,821	72,962	48,881
支払手形及び買掛金	47,002	47,499	25,497
短期借入金	1,845	2,347	2,196
未払金	12,935	13,290	10,964
未払法人税等	3,357	1,807	3,426
その他	5,679	8,018	6,796
固定負債	23,718	26,424	23,095
社債	—	195	235
転換社債型新株予約権付社債	270	—	270
長期借入金	14,044	15,479	13,608
退職給付引当金	89	99	108
役員退職給与引当金	394	432	427
事業再構築引当金	585	252	274
その他	8,334	9,966	8,172
負債合計	94,540	99,387	71,977

単位：百万円

	第60期 第3四半期 (2006年12月31日現在)	第61期 第3四半期 (2007年12月31日現在)	第60期 (2007年3月31日現在)
(純資産の部)			
株主資本	165,521	167,744	166,052
資本金	33,998	33,998	33,998
資本剰余金	34,512	34,512	34,512
利益剰余金	102,542	104,773	103,075
自己株式	△ 5,532	△ 5,540	△ 5,534
評価・換算差額等	1,673	△ 285	1,942
その他有価証券評価差額金	1,734	△ 297	1,935
為替換算調整勘定	△ 61	11	6
少数株主持分	400	903	655
純資産合計	167,594	168,362	168,650
負債純資産合計	262,134	267,749	240,627

連結損益計算書

単位：百万円

	第60期 第3四半期 (自 2006年 4月 1日 至 2006年12月31日)	第61期 第3四半期 (自 2007年 4月 1日 至 2007年12月31日)	第60期 (自 2006年4月 1日 至 2007年3月31日)
売上高	196,178	212,444	242,532
売上原価	137,323	147,627	167,788
売上総利益	58,854	64,816	74,743
販売費及び一般管理費	46,613	56,527	62,524
営業利益	12,241	8,289	12,219
営業外収益	5,013	4,802	6,062
営業外費用	1,343	3,544	1,958
経常利益	15,911	9,547	16,323
特別利益	449	17	965
特別損失	717	762	740
税金等調整前四半期(当期)純利益	15,644	8,801	16,549
法人税、住民税及び事業税	6,275	4,810	6,314
法人税等調整額	861	△ 76	1,219
少数株主利益(△)・損失	126	△ 74	150
四半期(当期)純利益	8,632	3,992	9,165

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	第60期 第3四半期 (自 2006年 4月 1日 至 2006年12月31日)	第61期 第3四半期 (自 2007年 4月 1日 至 2007年12月31日)	第60期 (自 2006年4月 1日 至 2007年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,245	△ 1,125	17,215
税金等調整前四半期(当期)純利益	15,644	8,801	16,549
減価償却費	3,621	4,877	5,874
減損損失	362	109	222
売上債権の増減額(増加:△)	△ 28,538	△ 29,408	△ 2,888
たな卸資産の増減額(増加:△)	△ 6,058	△ 5,813	△ 1,942
仕入債務の増減額(減少:△)	30,757	20,768	8,651
その他	△ 370	5,279	△ 2,317
小計	15,417	4,614	24,149
利息及び配当金の受取額	619	784	915
利息の支払額	△ 131	△ 171	△ 173
法人税等の支払額	△ 7,659	△ 6,353	△ 7,676
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,763	△ 9,841	△ 7,102
有形及び無形固定資産の取得による支出	△ 8,476	△ 7,733	△ 10,355
有価証券及び投資有価証券の取得・売却	3,686	1,596	3,722
その他	△ 972	△ 3,704	△ 469
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,244	△ 414	△ 4,698
短期借入金の増減額(減少:△)	△ 2,007	154	△ 2,054
長期借入による収入	3,000	3,220	3,000
長期借入金の返済による支出	△ 1,287	△ 1,352	△ 1,693
自己株式取得による支出	△ 1,931	△ 4	△ 1,932
配当金の支払額	△ 2,075	△ 2,294	△ 2,075
その他	58	△ 137	57
現金及び現金同等物に係る換算差額	167	35	189
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△ 1,594	△ 11,346	5,604
現金及び現金同等物の期首残高	53,622	59,226	53,622
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	52,028	47,880	59,226

注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 46,142百万円

2. 1株当たり四半期(当期)純利益 104円44銭

3. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

業態別店舗数

	第60期 第3四半期 (2006年12月31日現在)	第61期 第3四半期 (2007年12月31日現在)	第60期 (2007年3月31日現在)
スーパーオートバックス:	70	74	70
Type I	6	6	6
Type II	64	68	64
オートバックス	401	400	402
オートハローズ	11	11	11
オートバックス走り屋天国セコハン市場	28	31	27
オートバックスエクスプレス	6	8	7
海外(スーパーオートバックス、オートバックス、ストラウスティスカウントオート)	20	118	21
合計	536	642	538

要約個別貸借対照表

単位：百万円

	第60期 第3四半期 (2006年12月31日現在)	第61期 第3四半期 (2007年12月31日現在)	第60期 (2007年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	136,445	131,185	107,384
固定資産	127,580	132,939	130,300
有形固定資産	41,566	41,935	42,371
無形固定資産	6,681	7,999	6,627
投資その他の資産	79,333	83,005	81,301
資産合計	264,026	264,125	237,684
(負債の部)			
流動負債	72,750	69,172	45,769
固定負債	23,399	24,142	22,297
負債合計	96,149	93,314	68,066
(純資産の部)			
資本金	33,998	33,998	33,998
資本剰余金	34,512	34,512	34,512
利益剰余金	103,148	108,111	104,688
自己株式	△ 5,509	△ 5,515	△ 5,510
評価・換算差額等	1,726	△ 296	1,928
純資産合計	167,876	170,810	169,617
負債純資産合計	264,026	264,125	237,684

要約個別損益計算書

単位：百万円

	第60期 第3四半期 (自2006年4月1日 至2006年12月31日)	第61期 第3四半期 (自2007年4月1日 至2007年12月31日)	第60期 (自2006年4月1日 至2007年3月31日)
売上高	169,793	168,196	203,272
売上原価	135,731	134,608	161,261
売上総利益	34,061	33,587	42,010
販売費及び一般管理費	21,059	22,881	28,247
営業利益	13,002	10,706	13,763
営業外収益	3,807	3,671	4,837
営業外費用	1,037	3,338	1,441
経常利益	15,772	11,039	17,159
特別利益	636	17	1,397
特別損失	488	1,153	826
税引前四半期(当期)純利益	15,920	9,903	17,729
法人税、住民税及び事業税	5,630	4,258	5,628
法人税等調整額	1,113	△ 71	1,385
四半期(当期)純利益	9,176	5,716	10,716

注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 34,329百万円

2. 1株当たり四半期(当期)純利益 149円51銭

3. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

2007年12月31日現在

発行する株式の総数	109,402,300株
発行済株式の総数	39,255,175株
株主数	11,875名
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 なお臨時に必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

単元株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社

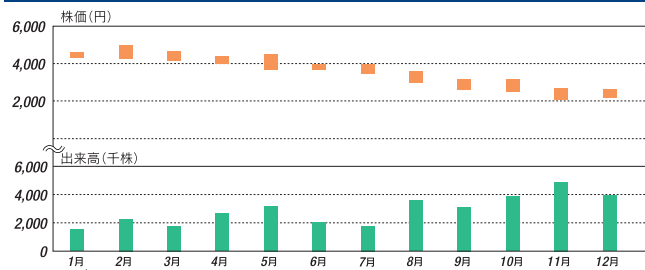
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求) 0120-176-417 (その他のご照会)

名義書換取次所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
---------	-----------------------

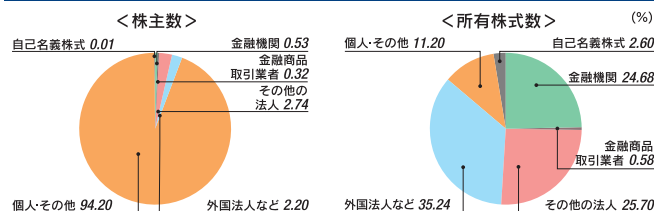
大株主一覧	有限会社スミノホールディングス 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口) ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー505019 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口4) 財団法人在宅医療助成勇美記念財団 ノーザン トラスト カンパニー (エイブイエフシー) サブ アカウント アメリカン クライアント 株式会社スミシヨウホールディングス タム ツー リーマンブラザーズインターナショナル(ヨーロッパ)
-------	--

注) 1. 当社は自己株式1,019千株 (所有割合2.60%) を保有していますが、当該自己株式は議決権の行使が制限されているため、上記の大株主から除いています (2007年9月30日現在)。
2. 上記以外の名義書換のなされていない株主については、有価証券報告書をご覧ください。
3. ロンドン証券取引所は2007年3月30日の取引開始時に上場廃止を完了しております。

株価推移 (大阪証券取引所)



所有者別状況 (2007年9月30日現在)



住所変更の手続きについて

ご住所を変更された場合、株主名簿の変更手続きをお願いいたします。株主招集ご通知や配当金などをお届けできなくなります。

ご変更は、住友信託銀行㈱の電話照会先(フリーダイヤル)までご連絡ください。なお、証券保管振替制度をご利用の株主さまについては、お取引の証券会社で変更手続きを行ってください。

株主優待制度について

『オートボックス』、『スーパーオートボックス』などで、1,000円(消費税込み)のお買い上げ毎に1枚ご利用いただける株主優待券(300円値引)を、3月末日(6月発送)と9月末日(12月発送)の年2回、株主名簿に記載されている、単元株式数以上を所有する株主の皆さまにお送りしています。

〔ご参考〕

- 配布枚数(半期毎) : 所有株式数 100株～999株 1,000株～
ご優待券25枚 50枚
- ご優待券は商品券・他の値引(買物券、クーポン券、値引券等)を併用の場合、値引き後の金額に対してご利用いただけます。
- ご優待券は日本国内のオートボックス、スーパーオートボックス、オートボックス走り屋天国セコハン市場、オートボックスエクスプレス、オートハローズおよびテクノキューブの全店舗でご利用いただけます。ただし、オートボックスC@RS、海外店舗ではご利用いただけません。
- ご優待券は燃料、車両、保険、税金、飲食、タバコなどにはご利用いただけません。

※車検につきましては、重量税、印紙代、自賠責保険料、リサイクル料にはご利用いただけません。車検基本料、検査手続き代行料、完成検査料、その他整備工賃、部品代にはご利用いただけます(手続き費用は、一部店舗によって名称が異なります)。

2008年1月1日現在

商号

株式会社オートバックスセブン (AUTOBACS SEVEN CO., LTD.)

創業

1947年2月

資本金

339億9千8百万円

主な事業内容

当社は、各種自動車用品部品の委託製作、販売、輸出入を主要事業として、小売総合専門店を直営店とフランチャイズ店と並行して国内外にチェーン展開しております。

役員一覧

(2008年1月1日現在)

取締役・監査役

代表取締役

住野 公一^{※1} CEO

取締役

湧田 節夫

経森 康弘

松尾 隆^{※1} CSO経営戦略推進統括 兼
Co-COO海外事業戦略推進統括
中田 康雄^{※2} (カルビー(株) 代表取締役社長 兼 CEO)

宮内 英樹^{※2}

森本 弘徳^{※1} Co-COOエリアドミナント戦略推進統括 兼
トータルカーライフ事業戦略推進統括 兼
店舗開発担当

武田 健一

監査役

野上 明 常勤監査役

森野孝太郎^{※3} 常勤監査役

住野 泰士 常勤監査役

田邊 健介^{※3} 監査役

※1 オフィサー兼務

※2 会社法第2条第15号に定める社外取締役

※3 会社法第2条第16号に定める社外監査役

主要な事業所

本社	(東京都江東区)	欧米事業部	(東京都江東区)
北日本エリア事業部	(仙台市泉区)	アジア事業部	(東京都江東区)
北関東エリア事業部	(千葉県市川市)	中国事業部	(東京都江東区)
南関東エリア事業部	(千葉県市川市)		
中部エリア事業部	(名古屋市名東区)		
関西エリア事業部	(大阪府吹田市)		
南日本エリア事業部	(福岡市博多区)		

オフィサー (取締役兼務を除く)

伊藤 浩明	北日本エリア事業部長
江副 正通	北関東エリア事業部長
江本 吉弘	海外事業戦略推進担当 兼 中国事業部長
加藤 哲也	南日本エリア事業部長
上西園英司	人事戦略推進担当
榎 宏介	C@RS事業担当 兼 車検整備事業担当 兼 C@RS事業推進部長 兼 車検整備事業推進部長
小林喜夫巳	カー用品事業担当 兼 トータルカーライフ商品管理部長
小平 智志	財務担当 兼 カスタマーサービス担当 兼 物流担当
角倉 正親	南関東エリア事業部長
住野 耕三	経理担当 兼 総務担当
戸出 譲	中部エリア事業部長
平田 功	IT戦略推進担当 兼 IT戦略推進部長
藤原 伸一	エリアドミナント戦略推進担当
松村 晃行	関西エリア事業部長
深山 義郎	新規事業担当 兼 ライコランドFC本部長
森本 眞臣	U-PARTS事業担当 兼 販売促進担当 兼 販売促進部長
吉山 弘樹	経営戦略推進担当 兼 経営戦略企画室長

オートバックスセブンの

ホームページをリニューアルしました!



<http://www.autobacs.co.jp/>

トップページ



オートバックスセブンの企業紹介ウェブサイトが全面的にリニューアルしました。

事業内容や業態紹介をはじめとする会社情報やニュースリリース、IR情報、株価情報など、コンテンツの充実をはかるとともに探したい情報にアクセスしやすいデザイン、ページ構成としました。

主な追加内容

株価表示 (20分遅れ)

店舗紹介動画 (業態紹介ページでご覧いただけます)

個人投資家向けページ

RSS配信に対応

その他にも新しいページを多数追加しています。是非ご覧ください。

AUTOBACS SEVEN CO., LTD.

株式会社 オートバックスセブン 東京都江東区豊洲5-6-52 ISTビル 〒135-8717



この株主通信は、適切に管理された森林を使用したFSC認証紙に、環境負荷の少ない水なし印刷・大豆油インキで印刷しています。

お問い合わせ先

● IR情報に関するお問い合わせ

経営戦略企画室 広報・IR・インフォグループ
電話：03-6219-8718 e-mail: investors@autobacs.com

● 住所変更等、株式事務に関するお問い合わせ

住友信託銀行株式会社 証券代行部
0120-175-417 (住所変更等用紙のご請求) 0120-176-417 (その他のご照会)
※詳細は12ページをご確認ください。